



10.10

平成29年(2017年)
月2回(10日・25日)発行

広報

たちかわ

市民と市政のつながりを“わ”で表しています

ホームページ ● <http://www.city.tachikawa.lg.jp/>
ツイッター (@tachikawa_tokyo) ● https://twitter.com/tachikawa_tokyo
動画チャンネル (YouTube) ● <https://www.youtube.com/user/TokyoTachikawa>

【今号の主な内容】

- 2面 在宅医療・介護と認知症
- 3面 別府温泉につかりませんか
- 4面 平成30年度 入園・入学のご案内
- 5面 たちかわ読書ウィーク
- 6・7面 自転車はルールとマナーを守って利用しましょう
- 8・9面 健康／市民伝言板／講座／スポーツ
- 10・11面 催し／シニア／子ども／子育て／お知らせ／くらしの相談日程
- 12面 立川シティハーフマラソン

発行／立川市 編集／総合政策部広報課
立川市役所 〒190-8666 立川市泉町1156-9
Tel 042(523)2111〔代表〕 Fax 042(521)2653

住みなれた このちいきで なかまや家族と わたしらしく暮らしたい

厚生労働省によると55歳以上の半数以上の方が、自宅で最期を迎えたいと答えています。その一方で実際には、病院で亡くなる方が7割を超えています。

市は、いつまでも住み慣れた環境で自分らしく生活を続けられるよう、在宅医療と介護連携の推進や、認知症施策に取り組んでいます。

☎高齢福祉課・内線1472

在宅医療・介護連携の推進

「自宅で療養生活を送りたいが、通院するのは難しい」などといった悩みはありませんか。市は、高齢になっても安心して自宅で医療を受けられるよう、相談窓口を設けているほか、市内の医療関係機関による在宅医療や介護に関する講座も開催しています。

認知症施策の推進

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な脳の病気です。厚生労働省によると、平成37年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。市は、認知症の早期発見を支援し、相談窓口などを設けているほか、認知症サポーターの養成も行っています。

くわしくは2面へ



かたらい夢みらい

立川駅南口地区の区画整理は一昨年、約50年かかった事業の幕を閉じました。

市街地における区画整理は日本国内でも珍しい事業として注目を集めたと聞いています。この間、地権者をはじめ、関係する市民の皆さんのご苦勞は並み大抵のものではなかったと改めてご協力に感謝します。

区画整理によって生じた多摩都市モノレール立川南駅の南西にある角地(約2100㎡、うち都有地約1700㎡、市有地約400㎡)については、現在、駐輪場としてご利用いただいています。国分寺市にある東京しごとセンター多摩などが当地に移設されることになり、市と共同で多目的のビルを建設することとなりました。

現在の駐輪場は来年6月末で一時的に閉鎖することから、近隣の施設を利用していただくこととなります。

新たに建設するビルについては、東京都の施設や市営駐輪場エレベーターのほか、市が独自に利用可能なスペースも確保しています。多摩地区の中心都市としての矜持を持ち地域全体を力強く盛り上げていけるような設えをしなければならないと考えています。

立川市長 清水庄平